

順天堂大学練馬病院外科だより

呼吸器外科：新科長のごあいさつ

前任の阪野孝充先生が10年間、科長として当科の礎を築かれ、3年ぶりに練馬病院に後任として戻ってまいりました前屋舗 龍男(まえやしきたつお)です。

呼吸器外科の対象疾患は、原発性肺がんを筆頭に、転移性肺がん、縦隔腫瘍と腫瘍性病変から気胸、膿胸、胸部外傷など急性期疾患を含み多岐に渡ります。近年はコロナや他疾患での精査CTで偶発的に指摘される胸部異常陰影や高齢化に伴う肺気腫合併の続発性気胸、肺炎を契機にした膿胸も増加傾向にあります。当院で



当科メンバー全員集合! (筆者左端)

は、総合病院の強みを生かし、救急対応から併存症をもつ患者さんまで幅広く対応可能です。また、ロボット支援下手術も積極的に導入しており、ロボットや胸腔鏡を用いた低侵襲手術から開胸手術まで患者さんに合わせて提案しております。引き続き地域のさらに頼りがいのある病院を目指しチーム一丸で取り組んで参りますので、まずは気軽にご相談ください! どうぞよろしくお願いいたします。

呼吸器外科 科長 前屋舗 龍男

乳腺外科：新科長のご挨拶

4月より科長を引き継ぎました木村聖美と申します。乳腺外科は主に乳癌を扱いますが、検診の精査から、診断・術前薬物療法・手術・術後補助療法・転移/再発の治療を行います。手術に関して乳房全摘手術が必要な方には、形成外科と連携して乳房再建手術や、遺伝性乳癌の方には、リスク低減手術の選択肢も提案させて頂いております。薬物療法に関しては、従来の内分泌・化学療



筆者

療法・抗HER2薬に加え、CDK4/6阻害・PARP阻害・他の新たな分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬などにより、再発リスクの減少や、乳癌の転移と診断された後も、QOLを保ちながら長く治療継続が可能になりました。練馬区の拠点病院として、地域のクリニックや病院と積極的に連携して参ります。また当科では順天堂大学本院と連携して、治療方針について定期的にカンファレンスを行い、最先端の臨床試験も行っております。順天堂大学乳腺腫瘍講座の臨床試験件数は日本でもトップレベルです。トップレベルの医療をご提供できますよう、頑張ってお参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

乳腺外科 科長 木村聖美